

日刊 動労千葉

87. 5. 16
No. 2551

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二二七二〇七

強制配転攻撃に怒りを燃やし 動労千葉の強化・拡大からとれ

動労革マルー鉄道労連の解体・一掃へ

すべての組合員、家族の皆さん。千葉運行部は五月八日以降、営業への一方的配転命令を強行してきている。これは「過員」を口実に強制配転させ、動労千葉から脱退させようとする組織破壊攻撃であり断じて許すな。

駅21名、直営売店15名の強制配転

千葉運行部は五月八日以降、駅、直営売店への事前通知を行った。内容は次のとおりである。

- ・駅への配転（21名）
 - 津田沼運転区 4名
 - 銚子運転区 4名 ↓ 動労千葉 2名
 - 勝浦運転区 10名 ↓ 動労千葉 10名
 - 館山運転区 3名 ↓ 動労千葉 3名
 - 習志野電車区 1名
 - 木更津支区 1名 ↓ 動労千葉 1名
 - 直営売店への配転（15名）
 - 習志野電車区 6名 ↓ 動労千葉 2名
 - 新習志野派出 1名
 - 津田沼運転区 1名 ↓ 動労千葉 1名
 - 千葉運転区 6名 ↓ 動労千葉 2名
 - 木更津支区 1名 ↓ 動労千葉 1名

事前に公募することなく一方的な指名を行い、事前通知を強行する当局のやり方は、労働者の生活を無視した不当きわまらないものである。

組合員一人ひとりが強く、たくましくなろう

動労千葉は五月十二日に当該組合員の出席を得て意志統一を行った。

当局は、「過員」を口実に、運転職場で働く労働者を無理矢理営業へ強制配転させようとしている。これは、六月以降の大量配転攻撃の第一弾として、動労千葉からの脱退、退職をも狙った組織切り

崩し攻撃であると同時に、「国電」から国労所属の乗務員を一掃したように千葉からも動労千葉の乗務員を一掃しようとする攻撃である。

動労千葉の組合員がこの攻撃に屈し、当局の切崩しを許すようなことがあるならば、物も言えない暗く陰惨な職場と化することは明らかだ。

われわれは、動労革マルや鉄労を一掃し、労働者が明るく生きいきと働ける職場をつくらなければならない。

そのためには、動労千葉の一人ひとりの組合員が強く、たくましくなり、国鉄労働者を動労千葉の旗の下に結集させることだ。

すべての組合員は、配転を強制されている組合員の立場を共有し、ともにたたかひぬこう。



この団結力で動労千葉破壊粉碎へ！(5/2銚子支部定期大会)